

平成27年度 第2回総合教育会議 会議録

■日時：平成28年2月24日(水) 午後1時30分～午後3時20分

■場所：村民センター小会議室

<出席者>

村長	唐木一直
教育委員長	三澤 久夫彦
教育委員長職務代理者	清水 道直
教育委員	太田 光子
教育委員	林 百代
教育委員	征矢 鑑（教育長）
事務局	藤澤教育次長 宮下学校教育係長 埋橋社会教育係長 伊藤泰子 以上10名

1. 開会

教育次長

開会に伴い南箕輪村と教育委員会との協議・調整の場となり、義務付けられていることを報告。

2. あいさつ

(1)村長

教育委員全員の出席と日頃の尽力への感謝。今年、10月1日から全面的に移行をする時期を迎えています。いろいろな教育課題がある中、殊に、教育格差の問題が大きく取り上げられています。解決に向けて、「総合教育会議」は、いろんな施策の推進と、課題の解決を図っていかねばなりません。2月29日から「3月議会定例会」が開会します。平成28年度の予算額は、65億7千万円と過去最高の規模となっています。人口増加対応に伴い、大型化になってきています。「こども館（仮称）」建設に向けての準備等、大変、ありがとうございました。生涯学習施設の、建設等の準備もしていかなければなりません。教育委員の皆さんの、ご意見をいただければと思ってる旨等を述べられた。

(2)教育委員長

村議会議員の皆さんから、多くの一般質問をいただきました。教育に対して、強い関心を持たれていることに心強く思っています。南箕輪小学校のような大規模校は、多くの難しい対応と事案があります。学校教育制度について、考え直さなければならない時期にきていると思います。人口増加に伴う

諸問題について、意見交換をしていただければと思います。よろしくお願
いしたい旨等述べられた。

3. 協議事項

(1) 南箕輪村教育大綱（案）について

<教育次長>

「南箕輪村教育大綱」は、原案を教育委員会でということでしたので、案を教
育委員長から説明をお願いします。

<教育長>

村第5次総合計画と整合性を図って、一枚にまとめてみた。一つ一つの施
策について述べるのではなく、総合的にまとめた。村独自のものにつましま
しては、項を設けて記載させていただいた。「基本目標は、「次代の担い手を育
み、一人ひとりが輝く村」とした。「子育て支援の充実」とて、子育て支援施
設「こども館（仮称）」を拠点に、地域での子育て支援を推進し、安心して子
どもを産み育てられる環境づくりに努めます。「学校教育の充実」は、「1 就
学前教育の充実」ということで、地域ボランティア等と連携した多様な学習
機会の充実を図りながら、家庭、保育園・幼稚園、小学校との連携強化を進
め、一貫した子どもたちの豊かな人間力形成をめざします。「2 義務教育の
充実」は、項目を増やしてあります。①としまして、児童生徒一人ひとりに
「確かな学力」「生きる力」「心の豊かさ」をつけるため、教育環境の整備充
実・教育内容の充実に努めます。また、いじめや不登校児童生徒のいない学
校づくりを一層進めます。②としまして、郷土愛を育むため、地域の住民や
企業等と連携し、「総合的な学習の時間」等を通して、郷土に対する理解や愛
着を持てる学習やキャリア教育を進めます。今後、キャリア教育に力を入れ
ていくということで掲げました。③としまして、大きな特長ということで、
上伊那農業高等学校、信州大学農学部、長野県南信工科短期大学等との連
携を深め、専門性のある教育を受ける環境づくりに努めます。「3 障がい児
教育の充実」としまして、教育と福祉の連携を強化しながら、障がいのある
児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた支援体制をめざします。続いて、
「生涯学習の推進」としまして、子どもから高齢者までのあらゆる人が生涯
にわたって、主体的に自らを高め豊かな人生を送れるよう、学校教育と連携
を図りながら生涯学習の充実に努めます。「青少年の健全育成」としまして、
青少年の健全育成を図るため、関係機関・団体と家庭、学校、地域等が一体
となって取り組む仕組みを整え、青少年の体験活動や交流事業、青少年団体
の育成・支援に努めます。「スポーツ活動の推進」としまして、すべての村民
がそれぞれのライフステージに応じたスポーツ活動が行える環境づくりに努
めます。「文化・芸術活動の推進」としまして、村民主体の芸術・文化活動を
支援するとともに、文化財の保存と活用、地域特有の民族文化の伝承に努め
ます。答申にもられた施策と整合性を図りながら作成をしました。以上、概
要について説明がなされた。

<教育次長>

前期実施計画に基づき、「芸術・文化活動」を「文化・芸術活動」また、「民族文化」の「民族」を「民俗」に訂正をお願いしたいとの説明がなされた。

【質疑】

<村長>

市町村まちまちなので、教育委員会で検討してきたということであり、施策と大きな目標ということで「南箕輪村教育大綱」はこれでよろしいと思う。時代が変化していけば、当然、変わっていく。総合計画に沿った大綱でよろしいかと思う。随時見直しを図っていくことを、「南箕輪村教育大綱」の最後に（注）として、明記しておいていただければと思う。

<太田教育委員>

「こども館（仮称）」は、名称はこのままでよろしいのか。

<村長>

現時点での「教育大綱」であり、決まったらということで、「こども館（仮称）」でいいと思います。その他ご意見はありますか。第5次総合計画に沿ってということですので、特に、ご意見はないかもしれません。

<教育委員長>

長野県南信工科短期大学の先生をお招きして、生涯学習の推進を図ってまいりたいと思います。

<村長>

生涯学習の充実ということですね。信州大学でも、社会人を対象とした講座が開かれています。

<教育委員長>

大学が地域に出て、講座を開くことが広まってきています。

<村長>

今日、ここで決定をしますか。「2 義務教育の充実」の③は、「生涯学習の推進」の方が、整合性が図れると思います。「子どもから高齢者までのあらゆる人が生涯にわたって、主体的に自らを高め豊かな人生を送れるよう、学校教育と連携を図りながら生涯学習の充実に努めます。」を「1」として、「2」として、③を入れた方が良いと思います。「基本目標」も、「第5次総合計画」と同じですか。

<教育委員長>

はい、同じです。

<村長>

「第5次総合計画」と、相反するものでなければ問題はありません。キャリア教育は、新年度予算で賃金を計上してあります。これで決定しても、よろしいですか。原則として、「総合計画」と同期間することを謳っていただきました

と思います。村議会への報告もお願いします。ボリューム的には一枚ですが、「総合計画」に沿ってということで、本村は、これで決めたということでお願します。

(2) 教育施設の現状・課題の対応策について

<村長>

(2) 教育施設の現状・課題の対応策についてお願いします。

<教育長>

児童生徒数の推移表からを作成してみました。平成 28 年から計を見ていただきたいと思います。南箕輪小学校は 779 人で、普通学級児童数が 739 人、特別支援学級児童数が 40 人となっています。特別支援学級（知的障がい）のクラスが 3 クラス、特別支援学級（自閉症・情緒障がい）のクラスが 3 クラスとなります。平成 28 年度は 141 人ですので、5 学級のところで、学校運営上、4 学級を考えています。南部小学校でございますが、37 人ですので、2 クラスになります。南箕輪中学校は、151 人で、特別支援学級生徒数が 5 人です。5 学級でほぼ固まりました。平成 32 年から平成 34 年にかけて、学級数が増えてまいりますので、特別教室を普通教室としての対応を考えています。多少、変動があると思いますが、現時点の人数ということでお願します。お気付きの点がありましたらお願いします。社会教育関係施設の、村体育館・公民館・郷土館の補修等の対応ですが、学校教育施設が優先されてきましたので、今後、社会教育施設の充実をお願いしたいと思います。

<村長>

教育施設の現状・課題の説明をしていただきましたが、住民登録数と児童生徒数の不一致は、住民登録を先にしますので、やむを得ないと思います。ほぼ、確定でいいんですね。

<教育長>

はい。

<村長>

南箕輪小学校は、4 学級でいくということでもいいんですね。教職員の配分の関係ということですね。

<教育委員長>

学習習慣形成支援の先生が、県費で 2 名、配分されます。

<村長>

4 クラスだと、2 名つくんですね。

<教育委員長>

700 時間、0.5 人ですね。

<教育長>

配分されなければ、村費でということになりますので。

<村長>

来年は、800 人を超えますね。南部小学校は、平成 33 年度は 59 人にな

るんですね。平成 28 年 1 月の出生は、かなり多かったようです。南部小学校は、平成 31 年度までに建設できていればいいですね。平成 29 年度に設計をして、平成 30 年度に建設ということで。南箕輪中学校は、平成 32 年は 193 人、平成 34 年は 180 人になるんですね。

<教育次長>

多目的に部屋を使用していかなければと考えています。

<村長>

南部小学校は、何れにしても増築していかなければなりません。今後、最悪の場合は、プレハブ対応をしていかなければなりません。一年だけです。

<教育次長>

会議室を使用していけば、間に合います。

<村長>

南箕輪小学校は、来年がマックスで 800 人を超すということですが、図書館を放課後児童クラブのところへ、図書館を普通教室にすれば使い勝手の良い形状で、当面はいけるとということで、南部小学校の増築を考えていくということですね。

<学校教育係長>

南側の林の方へと考えています。

<職務代理者>

70 人を超せば、3 クラスですね。

<村長>

平成 33 年は、59 人ですからね。先日、南原保育園へ行ったところ、南原はたくさんの家が建たっていて、びっくりしました。

<職務代理者>

社会教育施設についてお願いします。公民館の使用が非常に多くなり、中学校の駐車場を利用させていただいて対応をしています。高齢者の方々ですので、北側の庭を駐車場にしていただければ有り難いと思います。

<村長>

平成 28 年度で、保育園関係とともに、中学校の特別教室棟ができれば、一段落します。その後社会教育施設をと考えています。まずは、体育館を、続いて公民館、郷土館をと考えていますが、財政状況を考えますと、平成 28 年度予算では対応できませんので、少し休んでから整備をしていきたいと思います。公民館の前の庭を削って、南側を舗装すればどうでしょうか。

<社会教育係長>

庭を削っても、14 から 15 台しか止めることができません。南側も、桜を切って、慰霊碑を移動すれば、50 台ほどが可能かと思います。

<村長>

財力が無いので、村体・公民館・郷土館の順で、郷土館はあまり予算をか

けないで（補助金がありませんから、最小限の面積）と考えています。平成28年度は、綱渡り会計ですので、起債もギリギリに収めました。他には、施設関係はいいですか。それでは、「(3)「給食センター」に関する課題について」一緒に検討していただければと思います。

(3)「給食センター」に関する課題について

<教育次長>

「学校給食運営委員会」の前段で「学校給食センターのあり方委員会」が、明日、「給食センターの施設及び調理の現状と課題」・「今後に向けた意見交換」ということで予定しています。メンバーは、南箕輪小学校校長・教頭、南箕輪中学校教頭、田畑栄養教諭、調理員2名、学校教育係長と私となっています。もともとの機能は、1,200食ですが、現在は、1,300食から1,400食対応となっています。アレルギー食の対応もありますので、非常に手狭になっています。校長室との間へ増設するしかないと考えています。その間は、給食はストップということになります。何れにしましても、明日、検討会を予定しています。

<村長>

建設をしながら、給食は無理ですか。

<学校教育係長>

ボイラーの問題があるので、外注か弁当になってしまいます。

<村長>

西側には、用地がありませんか。

<学校教育係長>

殆ど、ありません。

<教育次長>

やるなら、東側しかありません。

<村長>

校庭は、どうにもなりませんから。南箕輪小学校は、平成30年ころから、児童数が減ってきますからね。100食分足りないという現状ですね。どうするのか検討していただいて。弁当は大変ですからね。建設をしながら、給食ができればいいけど、敷地がないから。しっかり検討していただいて、どうしていくのか考えていただきたいと思います。

(4)その他

<村長>

全体を通して、意見交換をしていただければと思います。

<教育長>

伊那市では、小学校で放課後教室をやっているようです。

<職務代理者>

小学校こそ、手を入れてあげたいですね。基礎学力をつけてあげたいですね。

<教育長>

使用している教室を利用すれば可能です。

<村長>

今のところを使って、希望者がいるかどうかですが。家庭の状況によって、学力格差ができるということは、本当に深刻な問題です。昔は、貧しい家庭の方が、優秀な方が多かったように思います。小学校とも意見交換をしながら、どのくらい希望があるか、把握して欲しいと思います。

<林委員>

指導をしてくださる人材確保が難しいですね。

<村長>

退職をした教員は、いませんか。

<職務代理者>

いらっしゃいますが、なかなか難しいですね。

<村長>

小学校からやっていった方が、効果があるということですから、是非、検討して欲しいと思います。

<職務代理者>

小学生のころから、基本的なところを、教えてあげたいと思いますが、小学校の先生方も忙しいですから。

<太田委員>

放課後児童クラブの中で、できればいいですね。

<村長>

今でも、手いっぱいのようなので。教育の機会均等、財力によって差がつくことは問題ですね。

<教育委員長>

「お金がないから、公立しか通わすことができない。」といった声が多く聞かれます。

<太田委員>

昔は、授業の中でできたのに、塾へ行くことが当たり前になってきています。授業日数も増えてきているのに。

<教育長>

伊那市の小学校では、総合学習で動物を飼育したりしていますので、帰宅すると塾通いをしているようです。

<林委員>

私も、そういった不満を聞いています。

<村長>

昔は、塾もなかったですからね。都会の大学へ行けば、帰って来ないといった問題もあります。

<教育委員長>

議員から、村独自の「いじめの基本方針」が必要だという指摘がありました。各学校にはあります。各学校にあれば、良いのではないかという意見もあります。流れるには、各市町村では作成しているようですが。

<村長>

村で、統一的なものをつくる必要はありますか。

<教育委員長>

伊那市・駒ヶ根市は、県にならって作成しています。つくったから、無くなるものではありません。

<村長>

よくわかりませんが、各校にあればいいと思いますが、教育委員会で検討して欲しいと思います。

<教育委員長>

村でつくとすれば、基本的なことになると思います。

<村長>

各校のものは、基本的なものはできているんですね。

<教育長>

謳っています。

<村長>

教育委員会で、検討をお願いします。

<教育委員長>

議員は、つくるように言っていますが。

<村長>

「いじめ」で、目に見えるものがありますか。

<教育長>

ほんの少し足を蹴られた程度のことでも、保護者が関わってくる場合があります。

<教育次長>

実態は、把握しています。

<村長>

早く芽を摘んでいくことが大切です。私のところへ訴えがあるのは、最終的な問題ですから。

<教育委員長>

「いじめ」による不登校は、1/3になっています。不登校解消のために、早目に防止していきたいと思います。

<村長>

中学校の不登校が、あんなに多いとは思ってもみませんでした。

<教育長>

個別対応をせざるをえない状態で、受験生は夕方、担任に指導をもら

っています。南箕輪小学校も、増加傾向にあります。

<村長>

解消をしていくには、どうしていくのか。

<教育委員長>

定例会前に、学習会をしました。フリースクールの視察等、これからは、学校教育制度を考えていかなければならないと思います。自分の好きなことをやることを、認める風潮になってきています。フリースクールは、上伊那の在籍比率が高いです。フリースクールは、お金が掛かります。岡谷市では、対策検討委員会を設置して、取組んでいるようです。学校と教育委員会だけでは、難しいですね。

<村長>

岡谷市のお話を聞いてみる必要がありますね。関係する系の職員に、聞いてもらう機会が必要だと思います。

<教育委員長>

学校でどんな対応をしているか、直接、様子を聞いて確認したいと思います。

<村長>

岡谷市の事例に学ぶところがあれば、学力の問題を研究テーマとして、取組んでいただきたいと思います。要保護準要保護児童生徒就学援助費は、増えていますか。

<学校教育係長>

増えています。

<村長>

就学援助費は、後払いになっているので、問題があると思います。今後、格差社会が進んでいくので、しっかり検討して欲しいと思います。

<太田委員>

「文化・芸術活動の推進」ですが、神子柴遺跡出土品が、伊那市で展示されています。南箕輪村に新しく郷土館ができる前に、手を打って、展示ができればと思いますが、いかがでしょうか。

<村長>

話ができれば、補正予算で対応していきたいと思います。神子柴遺跡出土品は、話合いのテーブルについていただけましたので、よろしく願います。各地区で、文化遺産を守る会ができて、久保区でも、会が立ち上がって報告会があったようです。北殿区・久保区・神子柴区・南殿区と4つできて、いいことだと思っています。中心になる人がいないと、成り立っていきません。人材確保が、今後の村の課題だと思います。行政の責任者として、人材バンク的なものを作っていく必要があると思います。

全体を通して、何かありましたら願います。

<太田委員>

もう一つ、「文化・芸術活動の推進」で、大芝に作品を展示するギャラリーを造ったらいかがでしょうか。場所代は無料にすれば、利用される方が増えると思いますが。

<村長>

検討してみたいと思います。「大芝の湯」には、スペースがありますね。

<太田委員>

「大芝荘」の方が、いいと思います。

<村長>

必要性はわかりますので、貴重なご意見をありがとうございました。

他になれば、協議事項、意見交換を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

4. 閉会

<教育次長>

ありがとうございました。予定をしていました時間となりました。以上をもちまして、第2回総合教育会議を閉会いたします。

【終了：午後3時20分】